

# Mémoires 2022

## 第56回 スプリンターズステークス (GI)



## 母の血を開花させて ジャンダルム

人馬ともに嬉しいG I 初制覇となった。

秋の短距離王決定戦に顔を揃えた16頭中、G I 馬はNHKマイルCの勝者で1200m戦は初出走のシュネルマイスターと、高松宮記念で初G I タイトルを獲得したナランフレグのみ。1番人気は前走のセントウルSをコースレコードで制したメイケイエール、2番人気はサマースプリントシリーズの覇者ナムラクレアと、牝馬が上位人気に推された。

速いペースでレースを引っ張ったのは、CBC賞を1分05秒8のJRAレコードで逃げ切ったテイエムスパードだった。手綱を激しく動かす鞍上に促され、これに必死で付いていくのはファストフォース。この2頭を、少し離れた3番手で追走していたのがジャンダルムだった。

荻野極騎手が「課題のスタートもこなしてくれました」と振り返ったように、2番枠から好スタートを切ったジャンダルムは、3コーナー過ぎから前に迫ると、直線を向いて早めに先頭に立つ。鞍上の激励に応え、殺到する後続を懸命に凌ぐジャンダルム。最後はウインマーベルの追撃をクビ差抑え、先頭でゴールした。

母は2002年の本競走勝ち馬で、翌年には高松宮記念も制した名牝ビリーヴ。スプリンターズSの母仔制覇は史上初の快挙だった。

3歳春はクラシック路線、その後はマイル中心に走ってきたジャンダルムが初めて1200m戦に出走したのは6歳となった2021年4月のこと。そこから母譲りの短距離適性を徐々に開花させながら、翌22年シーズン春にはオーシャンSでデイリー杯2歳S以来となる重賞2勝目。そして秋、ついにG I タイトル獲得となった。

25歳の荻野騎手はデビュー7年目でG I 初制覇。「ジャンダルムに感謝の気持ちで一杯です」と笑顔で喜びを語った。

### 第56回スプリンターズステークス (GI)

10/2 中山競馬場 1200m(芝・右・外)晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ジャンダルム	牡	7	57	荻野 極	池江 泰寿	1:07.8	⑧	③②
2	ウインマーベル	牡	3	55	松山 弘平	深山 雅史	クビ	⑦	⑧⑨
3	ナランフレグ	牡	6	57	丸田 恭介	宗像 義忠	3/4	⑤	⑬⑫
4	ダイアトニック	牡	7	57	岩田 康誠	安田 隆行	クビ	⑩	⑤⑥
5	ナムラクレア	牝	3	53	浜中 俊	長谷川浩大	アタマ	④	⑦⑥
6	エイティーンガール	牝	6	55	秋山真一郎	飯田 祐史	クビ	⑫	⑩⑧
7	トゥラヴェスーラ	牡	7	57	鮫島 克駿	高橋 康之	クビ	⑪	⑪⑪
8	マリアズハート	牝	6	55	菊沢 一樹	菊沢 隆徳	3/4	⑮	⑮⑮
9	シュネルマイスター	牡	4	57	横山 武史	手塚 貴久	アタマ	③	⑪⑫
10	ファストフォース	牡	6	57	団野 大成	西村 真幸	クビ	⑯	②②
11	ヴェントウオーチェ	牡	5	57	西村 淳也	牧浦 充徳	1/2	⑨	⑧⑨
12	メイショウモモザ	牝	5	55	丹内 祐次	池添 兼雄	1/2	⑬	⑤④
13	タイセイビジョン	牡	5	57	福永 祐一	西村 真幸	クビ	⑥	⑬⑭
14	メイケイエール	牝	4	55	池添 謙一	武 英智	1 1/4	①	④④
15	テイエムスパード	牡	3	53	国分 恭介	五十嵐忠男	3/4	④	⑪⑪
16	ラヴィングアンサー	牡	8	57	菱田 裕二	石坂 公一	1/2	⑯	⑯⑯

単勝 ②2,030円 複勝 ②470円 ⑦510円 ⑥560円 枠連(1-4) 3,430円  
馬連 ②-⑦15,340円 馬単 ②-⑦36,640円 ワイド ②-⑦3,100円 ②-⑥3,550円 ⑥-⑦2,960円  
3連複 ②-⑥-⑦50,590円 3連単 ②-⑦-⑥468,950円

ハロンタイム 11.9-10.1-10.7-11.4-11.4-12.3  
通過タイム 600m③32.7-800m④44.1-1000m⑤55.5



### 優勝馬:ジャンダルム

2015.4.25生 牡 黒鹿毛  
父:Kitten's Joy  
母:Believe  
母の父:Sunday Silence  
生産:米・North Hills Co. Limited  
馬主:前田幸治氏